

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月7日

上場会社名 株式会社 文溪堂

(コード番号: 9471 名証第2部)

(URL <http://www.bunkei.co.jp>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 水谷 邦照

問合せ先責任者 役職名 取締役管理本部長 氏名 舟戸 益男 (TEL: (058) 398-1111)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用については法定実効税率をベースとし計算しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	8,198	0.4	1,249	16.4	1,239	17.6	594	0.8
17年3月期第3四半期	8,162	1.2	1,074	15.6	1,054	16.4	590	24.9
(参考) 17年3月期	10,284		662		635		329	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	90.31	— —
17年3月期第3四半期	89.56	— —
(参考) 17年3月期	46.26	— —

(注)①売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

②期中平均株式数(連結)

当第3四半期 6,587,968株 前年同四半期 6,591,438株 17年3月期 6,591,020株

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当教育教材業界におきましては、平成14年度に現行の学習指導要領が実施されてから2度目の教科書改訂の年を迎え、「確かな学力」の向上を図るために、習熟度別指導、少人数指導、発展的・補充的な学習などの個に応じた学習や、「総合的な学習の時間」のさらなる充実が強調されました。

一方、教育現場におきましては、授業時数の確保と学力向上を主たる目的とした、二学期制を導入する学校が本年も増加いたしました。また、教材の採択方法も従来の分散型発注の形態から、学校・学年・教科の単位で教材の内容を精査し、一括採用を実施する傾向も見受けられ、新しい教育の流れに敏感に対応する学校が現れてまいりました。

このような中で、当社グループの売上高は、二学期制対応教材のテスト・ドリルや新企画の社会科資料集が増加いたしました。その反面、学期品の製品が減少いたしました。また、教材教具部門では、画材セットが実績を伸ばし、教科書の単元題材復活により布教材も実績を伸ばいたしました。この結果、当第3四半期の売上高は、前第3四半期に比較して36百万円増加(前年同期比0.4%増)して8,198百万円となりました。

損益面につきましては、売上高の増加及び在庫処分の減少、編集業務のデジタル化等、業務の効率化による編集費用の減少により売上原価が減少し、前第3四半期に比較して、経常利益は185百万円増加(前年同期比17.6%増)して1,239百万円、四半期純利益は4百万円増加(前年同期比0.8%増)して594百万円となりました。なお、経常利益の増加率に対して四半期純利益の増加率が小さい要因は、特別損失に減損損失の計上と、税金費用の増加によります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	14,748	10,834	73.5	1,645.05
17年3月期第3四半期	14,570	10,478	71.9	1,589.99
(参考) 17年3月期	14,942	10,232	68.5	1,549.06

(注) 期末発行済株式数(連結)

当第3四半期 6,585,927株 前年同四半期 6,590,487株 17年3月期 6,589,287株

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は193百万円減少して14,748百万円、株主資本は601百万円増加して10,834百万円となりました。

資産の減少要因は、投資有価証券の増加880百万円、受取手形及び売掛金の増加122百万円があったものの、現金及び預金の減少1,031百万円、有形固定資産の減少123百万円等によるものであります。

また、資本の増加要因は、利益剰余金499百万円の増加等によるものであります。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	10,400	670	250

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 34円15銭

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[連結業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては平成17年11月22日公表の数値を修正しておりません。